



2020年5月27日

各位

会社名 ワタミ株式会社
 (コード番号 7522 東証第一部)
 代表者名 代表取締役会長兼グループ CEO 渡邊 美樹
 問合せ先 執行役員 経営企画本部長 桂木 宏昌
 (TEL 03-5737-2784)

特別損失及び繰延税金資産の取り崩し並びに業績予想値と実績値の差異に関するお知らせ

2019年5月15日に公表した2020年3月期の連結業績予想と実績値につきまして、下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。また、下記の通り特別損失及び繰延税金資産の取り崩しにつきましてもその概要をお知らせいたします。

記

1. 2020年3月期通期連結業績予想と実績値との差異(2019年4月1日～2020年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	96,300	1,100	1,300	500	12円79銭
今回発表実績(B)	90,928	92	349	△2,945	△74円89銭
増減額(B-A)	△5,372	△1,008	△951	△3,445	△87円68銭
増減率(%)	△5.6	△91.6	△73.2	-	-
<ご参考>前期実績 (2019年3月期)	94,701	1,062	1,229	1,373	35円14銭

【差異の理由】

当連結会計年度においては、国内外食の売上は概ね計画通りに推移しましたが、新型コロナウイルスの影響により、3月単月の既存店売上前年比は59.6%になり、宅食事業においては、自社製造拠点である「手づくり厨房」のフル活用など原価低減取り組みを図っているものの、調理済み商品のお届け数は5,898万食(前期比97.7%)と、前年水準に届かなかったこと、海外外食事業においても、上海・深圳エリアの改善が道半ばとなったこと等により、売上高および営業利益・経常利益ともに計画を下回る結果となりました。また、下記「2. 特別損失の計上及び繰延税金資産の取り崩しについて」に記載の通り、特別損失及び法人税等の計上を行ったことにより、親会社株主に帰属する当期純利益が予想を大きく下回る△2,945百万円で着地する結果となりました。

2. 特別損失の計上及び繰延税金資産の取り崩しについて

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、2020年4月以降、閉店の意思決定を行った65店舗及び収益性の低下により固定資産の減損対象となった店舗の固定資産について減損処理を実施し1,920百万円の減損損失を計上いたしました。その他、80百万円の固定資産除却損を計上した結果、特別損失は、2,001百万円となりました。

また、昨今の厳しい経営環境等を勘案し、今後の繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、繰延税金資産を取り崩し、法人税等調整額953百万円の計上を行いました。

以上